

先生へのお願いのお手紙について 以下書類文面

担任の先生へのお願い

こんにちは、はじめまして。

_____さんのことでお願いがあります。

現在、歯並び治療のために「床（入れ歯）タイプの矯正装置」を使っています。つきましては、教育的立場からの御協力と御配慮をよろしくお願ひします。

床（「ショウ」と発音します）矯正装置は入れ歯のような形をしていて、取り外しが可能なものになっています。この装置を入れた状態では、発音しづらくなります。国語や英語などの音読、声楽その他のときには、本人に取り外してよいと指導しています。

ただし、取り外しを面倒がって、または周囲の友だちに好奇の目で見られることを嫌って、装置を入れたままにしている事もあるかと思ひます。なにとぞ御理解の上、フォローをよろしくお願ひします。また、食事のときにもはずしておくように指導しています。

装置をはずしておくときは、必ず専用ケースに保管させます。装置の破損・紛失を防ぐためです。また、スポーツするときは差し支えなければ入れておくように指導しています。歯を守るマウスピースの役目もするからです。

「入れ歯を入れている」というような思いやりに欠ける発言を受ける事があるかもしれません。もし、いじめに合うようならば学校につけて行かずに家のみでの使用を指導しておりますが、こうしたところも、御配慮の上御指導よろしくお願ひします。

床矯正装置は、入れ歯のように取り外しのできる事が最大の特徴です。歯を抜かない、顎を拡げる事ができる、痛くなく歯を動かせる、費用が安くすむ、見た目が悪くない、虫歯になりにくい。などなど、数々の利点を有しています。

しかし、装置をできるだけ長い時間使用していないと、その治療効果は十分発揮されません。

ヨーロッパで発展してきたこの「床矯正」はアメリカ式の矯正が主流の日本では、残念ながらまだあまり普及していません。大阪でもまだごく一部の歯科医院でしか施術されていません。それゆえ認知度は高くはないのですが、こうした利点が大きいため、今後急速に普及・発展していくものと考えられます。

御理解とご協力をお願ひ致します。